

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回スポーツ推進審議会																					
事務局	生涯学習部生涯学習課																					
開催日時	令和6年2月8日(木) 18時00分から19時30分まで																					
開催場所	市役所西庁舎2階第五会議室																					
出席者	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">会長</td> <td style="width: 30%;">田中 幸夫</td> <td style="width: 10%;">委員</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>本橋 玲子</td> <td>委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">委員</td> <td>山田 裕己</td> <td>委員</td> <td>服部 啓次郎 委員</td> </tr> <tr> <td>檀原 延和</td> <td>委員</td> <td>野川 春夫 委員</td> </tr> <tr> <td>永井 均</td> <td>委員</td> <td>長谷川 貴広 委員</td> </tr> <tr> <td>多田 啓子</td> <td>委員</td> <td></td> </tr> </table>	会長	田中 幸夫	委員		副会長	本橋 玲子	委員		委員	山田 裕己	委員	服部 啓次郎 委員	檀原 延和	委員	野川 春夫 委員	永井 均	委員	長谷川 貴広 委員	多田 啓子	委員	
会長	田中 幸夫	委員																				
副会長	本橋 玲子	委員																				
委員	山田 裕己	委員	服部 啓次郎 委員																			
	檀原 延和	委員	野川 春夫 委員																			
	永井 均	委員	長谷川 貴広 委員																			
	多田 啓子	委員																				
欠席者	—																					
事務局	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">生涯学習課部長</td> <td style="width: 50%;">梅原 啓太郎</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長</td> <td>三浦 真</td> </tr> <tr> <td>スポーツ振興係係長</td> <td>越 元宏</td> </tr> <tr> <td>スポーツ振興係主任</td> <td>津田 理恵</td> </tr> </table>	生涯学習課部長	梅原 啓太郎	生涯学習課長	三浦 真	スポーツ振興係係長	越 元宏	スポーツ振興係主任	津田 理恵													
生涯学習課部長	梅原 啓太郎																					
生涯学習課長	三浦 真																					
スポーツ振興係係長	越 元宏																					
スポーツ振興係主任	津田 理恵																					
傍聴の可否	可 一部不可 不可																					
傍聴者数	1																					
傍聴不可等の理由等	-																					
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 新規就任委員の紹介 2 第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認について 3 その他 																					
発言内容・発言者名	別紙審議結果のとおり																					
提出資料	別紙のとおり																					

も、第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認についてということで、前回からも引き続き検討されておりますけれども、事務局のほうから、このことについて御説明をお願いいたします。

津田主任

本日皆様にお持ちいただきました第2次小金井市スポーツ推進計画、こちらの計画年度が令和5年度、今年からとなっております。来年度以降、進捗状況や達成度を確認していくこととなりますが、その方法について、前回から引き続き御審議をお願いいたします。本日の会議で確定した方法で令和6年度以降、実績を確認していくこととなります。

資料1と資料2を御覧ください。前回の会議で審議しました後、年末までに御意見をお送りいただきたい旨お知らせしました。そこでいただきました御意見が資料1です。資料2は前回の審議及び資料1の御意見を踏まえ修正した資料です。資料2の斜体の文字は、実際には来年度以降記入していくこととなりますが、記載例として入れたものです。

資料2は各基本方針ごとに1ページとなっておりますが、最下段に総括の欄を設け、個別取組だけではなく、総合的な評価をする欄としました。

前回、主な取組の参加人数等、事務局としては定量的に測れる項目で確認していきたいと御説明をいたしましたところ、皆様から「何々をやりました」など記述も含めて評価してはどうかという御意見や、「基本方針1についてのまとめ、2についてのまとめ、3についてのまとめ」というように、基本方針ごとにまとめをするという御意見をいただいたので、このようにしました。

左下の、「A」とある欄は、記入例として記載したのですが、こちらが総合評価になります。「A」とあるところの右上の辺りに小さい文字で「『総合評価』凡例」とありますが、事務局としてはこのような基準で評価していくことを考えております。

例えば、今、「A」になっているのは、「◆個別指標」の「評価」という項目にある「A」、または「B」が10個以上で、かつ、「他取組・総括」欄で具体的な取組実績がある場合「A」

になるという説明になります。

この「他取組・総括」欄は、上の「◆個別指標」のところで書き切れない新たな取組があったときに文章で記述します。また、「◆評価指標」の「週一回以上運動・スポーツを実施している市民の割合」のところなのですが、前回「全市民にアンケートを取ったように見えるので、書き方に工夫が欲しい」という意見をいただいたので、誤解を招かないよう注釈を追加しました。下の※印のところで「アンケート調査『市長への手紙』から計上(無作為に抽出した2千人の市民の方に送付したうち回答があった内容を集計)」という記載です。基本方針2と3も同じように修正をしております。

最後に、資料3をご覧ください。資料2は、基本方針ごとに1ページずつとなっていますが、資料3は基本方針1から3を1枚にまとめたもので、年度ごとのまとめとして作成しました。

田中会長

ありがとうございました。大分皆さんの御意見が反映されていると思いますけれども、御意見、御質問がありましたら、お名前を言ってから発言をお願いいたします。何か御質問等ありましたら、お願いいたします。

資料3は1枚最初について、全体を基本方針について1、2、3と分かれてあるんですけども、まさに1、2、3をまとめたような、令和5年度は全体としてはおおむねこうだったみたいなことを書いた上で、基本方針ごとに記述してもらえると、より分かりやすく、1枚目を見ると、大体令和5年度はこんな感じだったんだというのが分かるんじゃないかと思います。

野川委員

資料3の3番目のところなんですけれども、上水公園云々というところがあって、「年間通し多くの市民の利用に供した」というふうに書かれているので、このところ、多くというのができれば客観的な数値を示したほうが分かりやすいのではないかと思います。

その下の「総合評価はAであり」というのが、上水公園運動施設によるものというふうに誤解されないような書き方にしたほうが多分いいのではないかと思います。

山田委員

資料1のほうで修正案を見させていただいているんですけども、前回ですか、土曜スポーツクラブだとか野川駅伝大会の参加者数の増減とか、そういうことで、週1回以上の運動・スポーツを実施している市民の割合、これを評価しようということだと思っんですけどもう、そもそもそれが本当に正しい評価なのかなというのがちょっと疑問でして、事務局としてはこういう参加者数とか、そういうファクト、数値で出てきますので、一番やりやすいかなとは思っんですけども、実際週1回以上スポーツしているかどうかというのが指標として正しいかどうかというのは、いまいちじゃないかなと思っております。

ですから、もうちょっと、本当に週1回以上の運動スポーツを実施している市民の割合を高めるためにどのような施策をしたのか。それはやったか、やらないかでいいですけども、そういうことをやって、そして、アンケート調査をまた新たに、それで、そのパーセンテージが上がっているのであれば、それを書くべきであって、こういう個別指標としてそれぞれの参加人数を挙げるのはちょっと、うーんという、直接的ではない、間接的な評価になるのではないかなと思います。

三浦課長

今、田中先生のほうからは資料3につきまして、1、2、3を総括する形で前文というか、全体的に評価するものを一番上に入れてはどうかという御意見だったかと思っております。

この部分については事務局のほうで持ち帰らせていただいて、文案を考えさせていただきたいと思っておりますので、対応したいと思っております。

2点目でございます。野川先生のほうから、多くの市民というところ、客観的な数字を入れてみてはどうかという御質問でございました。ここについても客観的な数字が取れるものであれば、取っていききたい、採用したいと思っております。

それからもう1点、総合評価がAであるというところの部分について、上水公園のみの数字だけで誤解を受けないようにという御指摘もございましたので、文言のほうは工夫させていただきたいと思っております。

それから3点目でございます。山田委員のほうから今、御案内いただきまして、評価指標のところはいかがかなという御意見を頂戴いたしました。

恐縮なんですけれども、こちらのスポーツ推進計画のほうを御覧をいただいて、34ページ、35ページ辺りをお開きいただけますでしょうか。特に35ページのところなんですけれども、評価指標については、計画の中で一応こういう形で評価していこうねということで位置づけているもので、今回につきましては、週1回以上運動・スポーツを実施している市民の割合、35ページのところ、そのまま持っているというところでございます。

したがって、この計画をつくる段階において一定、評価指標については御議論いただいて、ここに向かって進んでいこうねというコンセンサスをいただいたものと考えてございますので、変えるということであれば、それぞれ対応しなければならぬところがございますが、まずは1回これで評価をしてみたいなと思っているのが事務局の答えとなります。以上でございます。

山田委員、いかがでしょうか。

山田委員

以前にそういう議論をされて、こういうことで評価しようということになっているわけですね。そうであれば、しようがないですね。

三浦課長

あとは、私ばかりが発言しても仕方がないですが、本日お示しした資料2のところの真ん中辺り、実績評価、理由等々、斜め字のところはこれから文言等を入れていくという形になりますので、今日は参考程度という御理解いただければと思います。

数字につきましても、令和5年度が終わった時点で評価軸に沿って数字を当てはめてまいりますので、今日は参考程度ということで御理解賜ればと思います。以上でございます。

服部委員

今の基本方針1の評価指標についてなんですけれども、たしか前回の会議でも申し上げたと思うんですけども、これの、週

1回以上スポーツしている市民の割合というのはどうやって出したのかということで、アンケート調査をして、回答があった中でのパーセンテージということですので、その下にある無作為に抽出した2,000人の市民の方に送付したうち、回答があった内容、ここに実回答者数を入れたほうがいいのではないかとこのように思います。

というのは、同じようなアンケートを取ったときに、分母がかなり異なります。例えば、来年、アンケート取った回答が200人となった場合、こういったときに、その中での少ない分母で評価しますと、結構ぶれる可能性も出てくるかなと思いますので、これ、見た方に対してきちんと分母を示したほうがよろしいかなと思いますので、御検討いただければと思います。

三浦課長 ありがとうございます。nイコール幾つみたいな、そんな表現ですか。

服部委員 有効回答数が幾つあったかというふうに書いていただくのがいいのかなと思います。

三浦課長 分かりました。

野川委員 資料2の2ページ目の個別指標の2-1の小文字のqの体力測定に12と15と書いてありますが、これは12人と15人ですか。これは人数ですか。

越係長 はい。これは実際に参加された人数です。

野川委員 こんなに少ないんですか。本来ですと、多分、体力測定というのをきちんともっと広げてやって、高齢者とか年齢層もそうだと思うんですけど、それをしないと多分、どういうところが不足していて、どういうプログラムが必要かというのが分からないんじゃないかというのが1点あるんですね。

それが私のほうの2点、あともう1点。その上のこがねい国保健康チャレンジというんですけど、これは保険年金課と一緒にされているんですか。

津田主任 保険年金課が実施している事業で、スポーツ推進計画の45ページの下のところに掲載があるものです。スマートフォンアプリや活動量計によるウォーキング等でポイントがたまり景品と交換できる事業です。

野川委員 何年か前だったんですけども、高齢者の運動と、それからあとは健康保険の医療費の関係というのを何らかの形で出せるといいのではないかというのが国のほうでも多分されたと思うんですけど、そういうアイデアというのは今回は入らないんですか。こちらのほうでは。連携というふうな意味で。

多分、総合型地域スポーツクラブが2つか3つあると思いますので、少なくともそこだけでも協力して取ってもらって、レセプトか何かを上手に合わせると、医療費どのくらい使っているかというのはすぐ分かるんです。そうすると、先ほどの体力測定や何かも含めて、具体的な施策というものとか指標がもうちょっと出せるのではないかというふうに思ったりします。すぐには無理だと思うんですけども。一応意見でございます。

三浦課長 ちょっと持ち帰って検討させていただきます。

田中会長 基本方針の1番から3番まで同じなんですけれども、先ほど山田委員が言ったように、ここに出てくるのはみんな数字だけなんです。数字で評価をしているわけなんですけれども、前回言ったと思うんですけども、定量的な評価はしやすいと思うんですけども、定性的でも、そういうふうな書き方もあっていいのかなというふうに思っています。

1つは、概要のほうにと基本方針1というのがあるって、1から5というのが確かにあって、基本施策に「子どもの運動・スポーツ活動の推進」、それで、次に主な取組というのがあるんですね。その主な取組の具体例が土曜スポーツクラブであったり、野川駅伝大会というふうなことだと思うんですけども、そこに誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの実施とか中学校運動部活動の地域移行への対応という取組が書いてあるわけですね。

だから、これに対して、現状維持だとか、ちょっと上向きになっているのか、いやいや、うまく行かなくて減っていったとか、矢印でいいと思うんですけども、現状維持ならそのまま、右肩上がりだったらというふうにして、そういう評価をして、具体的には土曜スポーツクラブだよとか、そういうのを書いてもらったら、よりいいんじゃないかな。

例えば、中学校の運動部活動の地域移行への対応というのは、今度から検討委員会がつけられるということなので、これはいいこと、というふうな、主な取組に対して定性的な評価をそれぞれの担当した課がしてもらって、なおかつ、数字も上げていってもらえればよいと思いますね。

子どもと運動・スポーツ活動の推進というのは、何だ、2つしかないのかと思われちゃうんで、主な取組のところを入れ込んで、主な行事の参加人数から最後の事業実績・評価理由というのが、分からない、それぞれの主な取組に対してコメントを少し入れて、だからプラス、だからマイナス、だから現状維持みたいなことを書いてもらって、それで個々の持っているデータもそこに入れてもらおうと、非常にいいんじゃないかな。より包括的に分かるんじゃないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

例えば、基本方針の3というのを見ていただくと、3-1というのは非常に大切な項目なんですけれども、安全で快適に運動・スポーツができる場の充実というところでいくと、民間施設開放利用人数0と書いてあって、その次が10人と書いてあって、いやいや、もっと違うこともいっぱいやっているでしょうみたいな。

例えば、こっち（計画本体）の主な取組では公共スポーツ施設環境整備という項目があって、例えば、そういう項目であれば、ちょっとだけですけども、プラスなのかマイナスなのか分からないですけど、例えば、コート整備しましたというのがあれば、そういうことを書いてもらって、だから、ちょっとプラスですよみたいな。で、なおかつ、市民開放利用人数のところも出していく。学校施設とか民間施設の市民開放といういろんなところと提携したりしてやっていると思うんですけど、これがなかなか見えてこないのはちょっと残念です。せっかく主

な取組を、こういうのをしているので、もっとやりましょうというのがある、これを評価するというか、というのも大切なことなど。

これだけだと、取組をやった、やらない、これしかやっていないになっちゃう。いろんなことをされているので、そういうものの評価というか、進捗調査というんですか、マイナスになってもしょうがないと思うんですね。例えば、いろんな事情でこの事業は少なくなった、参加者が少なくなるが、それはこういう理由が考えられるとか、時代に合っているとか、合っていないというのがあるかもしれないし、それで、いいことだけ書く必要もなく、だからこうしたほうがいいというように作っていったらいいんじゃないか。

山田委員

基本方針の3なんですけれども、3-1ですね。そこで令和5年度の実績というところに10と書いていますけれども、これは例なんです、多分。前にも、令和元年度の上に書いてある実績だと、53.6万人で、令和7年度の目標が60万人に較べて、10というのは何だということになる。10万ならまだいいんですけど、10というのは何かというのが、そもそも例としておかしいんじゃないかなとは思いますが、まだコロナにどっぷりつかっているような感じがして、何かちょっと変じゃないかなと思います。

あと、会長が申されましたように、もう少しこういうことをやりましたとか、こういうことをもうちょっと総合評価の上水公園の運動施設とか、そういうのを増やしましたとか、そういうことをもっと書いて、そういうことをやったということで充実を図っているよということをもっとアピールできたらいいかなと思います。

津田主任

個別指標を足し上げていくと、評価指標になるように見えて、誤解を招くという御意見を前回もいただいていた。同じように、まず、一番上の評価指標というのが、推進計画の49ページのスポーツ施設の利用者数なんです。総合体育館、栗山公園健康運動センター、上水公園運動施設、小金井市市営テニスコート、こちらの施設の利用者数が基本方針3の評価指標です。

下の個別指標というのは民間施設開放利用人数で、具体的には総合学院テクノスカレッジですが、10という数値は仮に書いてしまったもので、感染症拡大防止のためにしばらく開放中止していましたが、今年度の途中から開放を再開したことから、かなり少ない数値を書きました。

申し上げたとおり、3-1と3-2を合計して60万人の目標を目指すということではなく、施設の環境の充実を図る指標としては、この4施設の利用者数ですが、その下の個別指標として、その一助となっているものとしては、テクノスカレッジの利用者数、FC東京の連携事業件数というつくりになっています。

山田委員

そうすると、やっぱり個別指標としてそういうものを出すというのが何か違うんじゃないかなと。もっと数値じゃなくて、先ほど会長もおっしゃいましたけれども、やった、やらないだけでもいいんですけども、そういう形で何か挙げて、60万と個別指標として成り立っているのかというのが、ぱっと見た一般市民としても、この結果を見て、えっ、こんな少ない数字でちゃんと目標達成できるのかなという疑問を持たれてしまうんじゃないかなと思うんですね。

だから、もう少しいろんなところでこういうことで施設を使っていますよとか、そんなことでもいいので、どんどん、数値にこだわらずに、定性的なものでもいいんじゃないかなと思います。

田中会長

個別指標のところは栗山公園健康運動センターはこうやりました、上水公園運動施設はこうなりましたというのも入れてもよいですよ。だから、ちょっと寂し過ぎるんじゃないですか。これしかやっていないのと思われてしまう。

三浦課長

今、49ページの評価指標で、例えば市スポーツ施設、緑色の枠の中で総合体育館ですとか栗山公園健康運動センター、上水公園運動施設、小金井市テニスコートはスポーツ振興係のほうで所管している建物とか運動施設です。それらの数字が、例えば3-1のところ、ここでは民間施設の利用人数としか書

いてありませんが、それぞれの総合体育館の人数、栗山公園健康運動センターの人数というのは把握はできているので、そうすると、ここには書き込めてくれるかなとは思いますが、少し事務局のほうで工夫させてもらって、利用人数の実態が分かるものが入ってこれればいいのかと思いますので、ここは工夫させていただければかなと思いますが、いかがでしょうか。

これだけだと、民間施設の開放利用人数でしか見れないというのは確かに誤解を招くかなと思いますので、入れられる部分はちょっと膨らませられればいいのかと思います。

田中会長

ちょっとこれだと、何もしていない、誰もやっていない、10人しかやっていないになっちゃうので、この53万人は何だという、60万人って大丈夫かいとなるので、書き方とか表現の仕方は少し工夫しないといけないかなと思います。

服部委員

先ほどどなたかがおっしゃったと思うんですけども、それぞれの基本方針についての評価指標というのは定量的なデータを使っていくというのは非常に結構なことだと思いますけれども、個別指標についてはあまり定量性にこだわらなくてもいいんじゃないかという気がしてきました。

先ほど会長もおっしゃいましたが、個別指標の説明はこの冊子の中で細かく書いてありますし、例えばですけども、基本方針3の主な取組の安全・快適な公共スポーツ施設環境整備というところには、例えば、安全な施設として適切に管理するとともに、施設の改善を実施していきますと書いています。それに対して、どういう取組をやりましたか、できましたかということを下の個別指標のところに書いて、先ほどのにぎわいが上向きなのか下向きなのかという、定性的なあれもいと思うんですけども、そういうのを付け加えていく。

だから、評価指標と個別指標は特にリンクさせなくてもいいと思うんです。それは数字で出しましょう、個別指標のほうは、実際にこの取組で書いたことに対して、どの程度のことのできましたでしょうかというのが分かるというふうな構成でもよくないかというふうに思っております、確かにそれは誰が評価するのかというのは難しいかもしれませんが、具体的

に分かっている取組があれば、それは挙げていただいて、定性的な評価というのでも1つ入れていくというのもありかなというふうに思いました。

三浦課長

御意見ありがとうございます。確かにちょっと誤解を与える部分が多分にあるなと思うところがございます。

今、御提案いただきました、例えば、基本方針3のところであれば、評価指標についてはこれで一応前回議論していただいていますので、ここはいじることなく、個別指標のところ、基本施策と主な取組についてちょっと言葉で補完していくというところに対応していきたいなと思ってございます。

なので、ちょっとブラッシュアップが必要かなと思いますので、この後、委員会がどうなるかあれですけれども、事務局のほうで対応できる部分については対応させていただきたいと思います。ですので、現段階では、服部委員がおっしゃるように、評価指標と個別指標は必ずしもリンクするということではなくて、個別指標については何かこう、できたこと、代表的な指標なんかも織り交ぜながら、ちょっと見せ方というんですかね、表現の仕方を工夫させていただきたいと思います。以上です。

田中会長

ほかに何かございませんか。

長谷川委員

遅くなってすいませんでした。

前日も多分同じ話をしたと思っていて、前回メールで宿題いただいていたので、本当はそこに返す形で今日になればよかったんですけど、ちょっとすいません、時間が取れなくて、できなかつたんですけども、本当に御意見あったとおりでと思いますし、人数で数値化していくのって安定した状態にあるときに比較しやすいですけれども、いろいろな要素で変動していく。

私もサッカー協会でも今、苦勞していますけど、一般の部のチームってどんどん減少傾向なんですね。これって多分、どんな努力をしても、今、減少傾向です。それは少子化もあたりとか、いろんな要素があるので、こういうことで人数だけこう上

がっていきますとか、チーム数だけでこう上がってきますという
ことを指標にしてしまうと、逆にネガティブに見えてしまう
部分もあると思うんですね。

そういう前提条件が変わらない状態であれば、多分数値とい
うのは結構なんですけど、ちょっと難しくないかなというのは
現実的に思うところなので、今日皆さんおっしゃったとおり、
あまりこの数字のところにはこだわらなくていいのかなと思
いますし、逆に、それぞれの項目に対してどんな検討してい
るかという、そこが市民的には興味があるところで、そこに少
しでも新しいこと、実際それは実現するのはやっぱりお金もか
かりますし、無理なものは無理でしょうけれども、頑張ろうと
しているかどうかというところが見えるかどうか重要なポ
イントかなと思いますので、会長おっしゃるとおり、定性的な
ものでもいいので、こういう項目をやろうとしていますだけで
も見えると少し市民に伝わるだろうなというふうに思います。

田中会長

ありがとうございます。そのほか何かございますでしょうか。

この後、どのようにまとめて、次年度から、実際の評価ですから、
進捗状況を知るということになると思いますけれども、ですから、
大体皆さんの御意見は、定性的なものを入れ、こういう数値も入れ
て、全体の進捗状況が分かるようなものにしてもらいたいとい
うことなので、事務局と私のほうで併せてまたこんなものを作ると
いうことでよろしいでしょうか。いや、私も入れろという方がお
られたらやっていただくというのは全然構いませんけれども。そ
んな方向でよろしいでしょうか。

三浦課長

ちょっとブラッシュアップしたシートにつきましては、正副
と相談させていただきながら直しを入れさせていただいて、一
定めどがついたら皆様にメールでお知らせするような形でい
かがでしょうか。

田中会長

そういう形で進めてまいります。

では、議題の2は以上となります。よろしいですね。

続きまして、その他ということとなるんですけれども、事
務局のほうから何かございますでしょうか。

三浦課長

では、次第の3のその他の部分でございます。

御報告めいたことになりますけれども、学校部活動の地域連携、地域移行等につきましては、前回の審議会におきまして、令和5年度中に部活動地域連携検討委員会を設置する準備を進めていると申し上げたところでございますが、12月の市議会におきまして関連予算が御議決をいただきましたので、予定では3月の11日に第1回目の委員会を開催させていただいて、そこでは委員の方が多くいらっしゃいますので、顔合わせ程度かなと思いますけれども、1回やらせていただきたいと思いますのでございます。

以降、来年度以降はまた予算の関係になりますので、今日はなかなか詳しいところまでは申し上げられませんが、委員会を通じて、よりよい形で部活動の地域連携、地域移行を進めてまいりたいと思っておりますので、皆様もぜひ見守っていただければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

長谷川委員

すいません、今のメンバーは決まっているんですか。

三浦課長

今、公募委員等々を選考しているところなんですけど、まだ発表まで至っていないので、ちょっと申し訳ありません。

長谷川委員

今、選考中。

三浦課長

そうなんです。申し訳ありません。

長谷川委員

何名ぐらいの方。

三浦課長

全部で16名。

田中会長

大体の内訳を教えてください。

三浦課長

小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会設置条例という条例を御議決いただきました。その中の3条で委員

構成について規定をしております。ざっと申し上げますと、市立小中学校の校長2人以内、市立中学校関係者5人以内、学識経験者1人以内、市内の社会体育及び文化芸術関係者2人以内、PTA代表者1人以内、公募による市民5人以内ということになってございまして、総勢で16名ということになってございます。

委員選考については現在進めてございますので、まだどの団体からとか、そういうところまではお伝えできないんですが、会議終了後でございますけれども、一応御報告だけさせていただきます。

田中会長 黄金井倶楽部さんとか体協とかからの推薦はないんですか。

三浦課長 まだ委員会の内訳まではちょっと申し上げられないで申し訳ないんですけども、でも、関係団体の方々にお声がけさせていただいております。

山田委員 体協からは1名推薦しています。

三浦課長 申し訳ございません。令和5年度、3月に1回やらせていただいて、令和6年度以降継続してまいりますので、注目いただければと思います。

田中会長 もう決まっていることだと思いますが学芸大の先生とか、そういう方は入られるんですか。これも申し上げられませんか。

三浦課長 学識の方はいらっしゃると思いますので、そこまで御勘弁いただけないでしょうか。

田中会長 独り言ですけども、生徒の面倒を見るとか、そういうことを考えると、学芸大には教育学部もあるし、そういうソースを使うということもあるし、地域の大学としても地域貢献できると思います。独り言です。

三浦課長 会長の独り言に期待しております。
事務局からはその他は以上でございます。

田中会長 委員の皆様から何かございますでしょうか。ないようでしたら、本日の議題は以上となります。

これで第1期のスポーツ推進審議会は最後となりますので、皆様方には第2次のスポーツ振興計画を作成していただき、これを進捗確認ということで、この提案を作っていただきまして、本当に立ち上げの大切な事項を決定、そして作っていただいて本当にありがとうございました。よりよいスポーツ都市、都市というのは、健康の優れた小金井市になるというこの計画が少しでも実施されていければいいかなというふうに思います。

御協力どうもありがとうございました。

これをもちまして、スポーツ審議会第1期終わります。皆さん、ありがとうございました。

津田主任 ありがとうございました。事務局から御連絡なんですけれども、前回、3月に再度会議を開催するかもしれないとお話ししていたんですが、事務局と正副会長で御相談しまして、今回は特段議題がないということから、3月は開催せず、今年度は本日で終了ということになりました。

— 了 —